

知っておきたい 藤前干潟 ため知識

ごみの埋め立て予定地だった!?

20世紀の末、名古屋市ではごみの量が増え続け、「このままだと埋め立て場所がなくなってしまう」と問題となりました。その時、ごみ埋め立て場の候補になったのが藤前干潟です。しかしそこは、渡り鳥の重要な中継地。自然保護の流れに応じ、自然を守ろうという市民の皆さんの声などによって、計画は中止されました。それ以来、市民・事業者・行政が協力して、ごみ減量に取り組んでいるのです。



国際的に重要な渡り鳥の中継地

藤前干潟はラムサール条約に登録された国際的にも重要な湿地です。ラムサール条約とは、重要な干潟や湿地とそこにすむ動物や植物を世界のみんで守っていかうという約束のこと。1971年にイランのラムサールという町で行われた話し合いで決められたことからラムサール条約と呼ばれています。藤前干潟は2002年11月に登録されました。

環境省藤前活動センター

TEL:052-309-7260
交通:三重交通バス
(サンビーチ日光川行き)
「南陽町藤前」で下車、徒歩10分。

環境省 稲永ビジターセンター

TEL:052-389-5821

名古屋市野鳥観察館

TEL:052-381-0160

交通:あおなみ線「野跡駅」で下車、徒歩10分。市バス「野跡駅」で下車、徒歩10分。



3館共通

開館時間:9:00~16:30

休館日:毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、第3水曜日(祝日の場合は第4水曜日)、年末年始(12月29日~1月3日)
入場料:無料(団体利用については事前予約が必要です)

発行

名古屋市環境局環境活動推進課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 TEL:052-972-2662 FAX:052-972-4134

よびこそ!!! 藤前干潟へ

名古屋の南西部にある藤前干潟は、魚やカニなどたくさんの生きものが暮らすワンダーランド! 地球を南北に旅する渡り鳥たちがエサを食べたり、休憩をしたりする大切な場所でもあります。

岐阜の夕立山などから流れ出た水は、庄内川、日光川、新川を通して、
河口の藤前干潟から伊勢湾へと注ぎます。

山から海へのつながりの中で育まれた大切な藤前干潟。
みなさんも、この都会に残された貴重な干潟とふれあってみませんか。



